



トチノキ(栃の木) *Aesculus turbinata*

トチノキは北海道南部から本州、四国、九州の主に冷温帯落葉広葉樹林内に広く分布している落葉高木種で、谷筋並びに渓谷沿いの斜面や斜面下部の水分が多い湿潤な立地を好んで生育し、京都では山地に多い。トチノキは大木になり、その材は美しい絹目光沢と波状杓（※1）を持つので、建築材や家具や挽物（※2）などに利用される。またその実は昔からアク抜きをして食料とされていたが、現在でも北山では栃餅の材料として利用されている。このようにトチノキは利用価値が高かったので、拡大造林で雑木林が伐採された時でも残されることが多かった。この写真のトチノキは京都府最高峰皆子山の北からの登山道であるツボクリ谷にある。滋賀県境から少し京都府側に入った場所に悠然と立っている。しかしこの谷へ入るには登山の装備が必要である。

京都森林インストラクター会
小野克己（文・写真とも）

（※1）杓：木目の紋様で、特に装飾性の高い美しい木目を言う。

（※2）挽物：ろくろや旋盤を用いて作った丸い器具・細工物。

イベント参加者募集&助成金情報

森林づくり関連イベント等 参加者募集

参加者を募集している森林づくりイベント等をご紹介します。内容が変更になることがありますので、参加を希望される場合は、必ず主催団体にご確認ください。

12月8日(日)
京都市

森を調べる 森を育てる 森を伝える
「宝が池連続学習会」
【第4回】森林再生の実践にむけて

身近な森を再生し、育て、未来へつないでいくための、フィールド実践も交えた連続学習会(5回)を開催しています。

- 内容：座学(ベレットストーブに学ぶ森林バイオマスの活用、小学校林における地域連携・企業参画での森林回復)、意見交換、フィールドワーク
話題提供：長谷川蘭奈氏(株式会社 Hibana)、奥井祐子氏(京のアジェンダ 21 フォーラム)
- 時間：10時～16時
- 集合時間・場所：10時に宝が池公園子どもの楽園管理事務所横・ミーティングルーム
- 参加費：1回100円(保険料等。その他、必要に応じて材料代などの実費)
- 対象・定員：15歳以上の興味のある方 残り若干名
- 主催：(公財)京都市都市緑化協会、京都府立大学・森林科学科
- 申込・連絡先：事前に下記までご連絡ください。
子どもの楽園管理事務所 野田・小川
TEL：075-781-3010 E-mail：kaerusenpai@kyoto-ga.jp

12月8日(日)
木津川市

竹林パーティ ピザ焼き体験と竹林整備で婚活

癒やし効果のある竹林内で、作業をしながら相手の本質を見極めませんか。

クリスマスをカップルで過ごしたいと思う方、限定!

- 時間：9時30分～15時頃
- 集合時間・場所：9時30分に木津川市役所加茂支所前
- 活動場所：木津川市山城町桜峠 ※雨天の場合は工作教室に切り替え木津川市加茂文化センター
- 参加費：1,000円
- 対象・定員：30歳から50歳までの独身男女15組
- 主催：NPO法人加茂女
- 申込・連絡先：12月5日(木)までに下記までお申し込み下さい。
NPO法人加茂女
TEL：0774-76-4144 FAX：0774-76-8118
E-mail：c1soga@oak.ocn.ne.jp

12月21日(土)
京都市

第7回生物多様性協働フォーラム

京都の文化や芸術、生業の視点から生物多様性を捉え、その保全と持続的利用への関心を高めていくため、「いのちと文化の共鳴をよみがえらせる」をテーマにフォーラムを開催します。

- 内容：鳥獣画家 佐藤潤氏による講演「絵画のなかの動物たち ～花鳥画の魅力～」、京の伝統的な衣食住と環境に関するパネルディスカッションなど
- 時間：13時～17時15分(11時30分開場)
- 場所：京都劇場(京都駅ビル内)
- 参加費：無料 ●定員：先着600名(要申込)
- 主催：生物多様性協働フォーラム事務局(三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)、兵庫県立人と自然の博物館、西日本自然史系博物館ネットワーク)
共催：京都府、京都市
- 申込・連絡先：12月20日(金)12時までにFAX又はWEBサイトで申し込みください。
三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)
政策研究事業本部 生物多様性協働フォーラム事務局
FAX 06-7637-1479
URL：http://www.murc.jp/forum/BDC.html
TEL：06-7637-1480
※保育ルームあり(生後6箇月以上)。ご希望の方は12月13日までにご連絡ください。

宇治
田原町

まきクラブ 薪づくり参加者募集

山を手入し、出た雑木を薪に加工し乾燥させ、後日参加者に分配します。

- 日時：2014年1月24日(金)、2月22日(土)、3月28日(金)
9時30分～16時頃
- 集合場所・時間：9時30分に(有)木創(宇治田原町大字賛田小字船戸72-1)
- 参加費：500円(保険料) ●定員：特になし
- 主催：自然住宅情報ひろば
- 申込・連絡先：事前に下記連絡先に電話かFAXかメールでご連絡ください。
自然住宅情報ひろば
TEL&FAX：075-582-8177 E-mail：johohiroba@nifty.com

助成金情報

森林づくり活動や、団体運営に役立つ助成金情報をご紹介します。申請される場合は、必ず事前に募集团体にご確認ください。

12/31
(火)
まで

パタゴニア 環境助成金プログラム

パタゴニアは売上の1%を世界中の環境保護団体を支援するために提供しています。パタゴニア日本支社では、主に日本国内の草の根の環境グループが行う、地域コミュニティを巻き込んだ、環境危機の最前線で行われる活動を支援しています。

- 助成対象
野生生物及びその生息地、生物多様性、海と水路を保護するためのもの、革新的、具体的な環境保護活動。
(対象分野)代替エネルギー、生物の多様性、森林、資源採取、社会啓蒙活動、持続可能な農業、有害物質/核問題、水域/海洋
- 助成対象団体の要件
 - ・非営利活動を行っているグループ
 - ・常に行動を起こしているグループ
 - ・広く一般の人々を巻き込み、支持を得ているグループ
 - ・目的を達成するために戦略的に活動しているグループ
 - ・問題の根本の原因を見極め、その原因に働きかけているグループ
- ・明確な目標と活動対象を持っているグループ
- 助成回数、助成金額
1団体からの申請受付は助成の可否に関わらず、1年(毎年5月～翌年4月)に1回のみ。助成金額は概ね20万円～70万円の範囲。
- 募集締切 2013年12月31日(火) 当日消印有効
- お問合せ・申請書類提出先
パタゴニア日本支社 環境助成金プログラム係
住所：〒248-0006 神奈川県鎌倉市小町1-13-12
TEL：0467-23-8961
- 詳細、提出書類についてはHP「パタゴニア 環境助成金プログラムと支援」で検索

【情報募集!】森林づくり関連イベント、助成金情報のページに掲載を希望される方は、当協会事務局あてにご連絡ください(連絡先:4ページ下参照)。

木工体験行事、秋の森林体験ツアーを開催しました

(公社)国土緑化推進機構の「緑と水の森林ファンド事業」の支援を受け、「モデルフォレスト DAY」行事の一環として、2つの行事を開催しました。

「花背の森で木工体験」10月12日(土)

お子さんと保護者の方11名に御参加いただき、京都市左京区花背にある山村都市交流の森の「森の工房もくじゅ」にて、京都府内のスギ・ヒノキの間伐材を使って時計とツール(背もたれのない一人用の椅子)をつくりました。



木工作業の様子

もくじゅの職員の織田さんから、水槽を使って木の重さを比べる実験をしていただき、「スギ・ヒノキの人工林は畑と同じで、木を太らせるために、間伐と言っ

て木を間引く必要がある。間伐をしないと健全な人工林にならない」という説明をしていただきました。

木工作業の後は、山村都市交流の森の事務局長の仲井さんに、ナラ枯れ防止のためにナラに透明のビニールシートを巻きつけて虫の侵入を防いでいる現場や、ナラ枯れ木を炭にする炭焼き小屋を案内していただきました。朝早くからの行事だったにも拘らず、お子さんたちは森の中を元気に走り回っていました。

御参加いただいた方からは、「木工作業が楽しかった」という感想を多数いただきました。



炭焼き小屋

「樹齢1000年超の伏条台杉に会いに行こう」11月9日(土)

秋晴れの中、37名に御参加いただき、京都市左京区花背にある、林業家の古原久弥さんが所有されている、樹齢1000年を超えるという伏条台杉群を訪ねました。

古原さんから、「以前は、木は使われてこそ価値があると思っており、伏条台杉が残っているような人が使わない天然林にあまり価値を感じなかったが、多くの人が伏条台杉を訪れるようになり、価値観が変わった。しかし地球温暖化により、ナラ枯れやシカによるササや樹木の食害が進み、森の様子が昔と違って来てしまっている」という話をさせていただきました。

その後、京都森林インストラクター会の皆さんにガイドをしていただきながら、伏条台杉群を目指しました。2時間ほどかけて、人間の時間軸をはるかに超えた壮大な台杉群に到着すると、参加者の皆さんから感嘆の声が上がりました。

アンケートでは、「台杉が圧巻だった」、「インストラクター会さんの説明を聞きながらの散策が楽しかった」、「子どもたちにこのような体験をさせながら次世代につなげていくことが大事では」などの感想をいただきました。



トレッキングの様子



伏条台杉群

2つの行事を通して、参加者の皆様に人工林の間伐の大切さや、伏条台杉の巨木がある天然林の心地よさ、地球温暖化等による森林への影響を感じていただくことで、自分たちの暮らしと森との関わりを振り返り、何かできることを実践していただくきっかけになることを期待しています。

御協力いただいた皆様、御参加いただいた皆様、ありがとうございました。

もり 森林に生かされる人々

チーム以森伝心は、京都モデルフォレスト運動を推進し、京都の森林づくり活動を広げていくためのサポータークラブです。今号では、森林からの恩恵を受け、森林とともに生活している人々を訪れ、その生業や暮らしを紹介する「森林に生かされる人々」をお届けします。

「夢は、和束の木と和束の大工職人で、家を建てること」

北 和久さん（製材業）

「和束の景観にマッチした、誰もが住みたくなる家を地元の木で建てたい。」和束町で製材業を営む北さんは、夢を熱く語ります。

学生時代に木造建築を学び、家業に就いた20代の頃は、日本中が地元の木で家を建て忙し時代だったと振り返ります。その後、バブルの崩壊や、輸入木材の増加と大規模工場で行われるプレカット工法※の普及に伴う建築様式の変化に伴い、仕事が減っていきました。「丸太を製材することが無くなってきている。人工林が荒れてきているのも気になる。かと言って、相談相手が居るわけでもなく、独りでは何もできないと思っていた。」と当時の心境を語ります。

しかし、昨年、間伐材を利用したビジネスモデルを学ぶ研修会に参加したことで転機が訪れました。各地で様々な取り組みが行われていることを知り、和束でも先代から受け継がれてきた森をもう一度生かしたい、森を再生するためにできることから始めたいと感じました。

時を同じくして、町内外の市民で構成する和束の森を再生するチーム活動に参加し、大阪の環境団体の森林整備の現場を見学しました。そこでは若い女性や親子の参加者があり、チームワーク良く間伐作業を進めていました。これを和束でもやってみたい、と強く思うようになります。

これらの経験を活かして、友人を誘い木工芸品づくりを習

い、森林整備グループ「和束の森 探検隊」を結成します。山に興味関心を持つ仲間が増えてきた事で「木に関わる人のネットワークが広がり、参加者が増え活動への支援が得ら

れる。そして森林が再生され林業も復活する」と、今は実感していると言います。「和束の森 探検隊」の活動は京都モデルフォレスト協会の「森林・山村多面的機能発揮対策」交付金事業に採択され、賛同者を増やすべく、11月初旬に地元の「茶源郷まつり」で活動のPRを行い、中旬には町内外の住民が参加する「和束町で豊かな森をつくろうプロジェクト」の一環として、第1回目となる森林整備活動を行いました。

ここ数年和束には、まちおこしと一緒に考える大学生や市民活動団体が多数訪れています。外部の人達と積極的に関わり、若い人が住みたくなる家を和束に建てたいとの想いも強くなる一方です。和束の将来を考えた森林再生と林業振興を目指す活動に、周囲の期待も高まっています。（西本雅則）



北 和久さん。有限会社北午木材代表、和束の森 探検隊代表。



11月2日、3日開催の茶源郷まつりで来場者に活動を説明



11月17日開催の初めての森林整備活動。町内外から13名が参加。

事務局からのお知らせ

活動報告

- 10月31日（木）まで 緑の募金運動強化期間
- 11月9日（土） 秋の森林体験ツアー
「樹齢1000年超の伏条台杉に会いに行こう」

今後の予定

- 11月末日まで モデルフォレスト一斉活動期間
「モデルフォレストDAY」

発行：公益社団法人 京都モデルフォレスト協会

入会案内資料をご希望の方は、ご連絡ください。

〒604-8424 京都市中京区西ノ京樋ノ口町123 京都府林業会館3階（住所が新しくなりました。）

TEL & FAX 075-823-0170

E-mail kyomori@kyoto-modelforest.jp

URL <http://www.kyoto-modelforest.jp>

2013年11月発行

デザイン：自然堂（じねんどう）株式会社